

交通の分析

- 1 . 交通の状況
- 2 . 外環道による交通の変化
 - ・ 一般道路の交通の変化
 - ・ インターチェンジがある場合の利用交通

1. 交通の状況（平成 11 年観測交通）

（ 1 ） 交通状況の基礎資料

- 国土交通省では、昭和 3 年以降ほぼ 5 年間の間隔で『道路交通センサス』と呼ばれる交通実態調査で、「一般交通量調査」と「自動車起終点調査」を行っている。
- 「一般交通量調査」では、全国の主な道路の交通量・旅行速度・道路状況を調べており、「自動車起終点調査」では、自動車交通の発生元（起点）と行き先（終点）を調べている。
- 最も新しい『平成 11 年度 道路交通センサス』では、平日の交通量を平成 11 年 10 月 7 日（木）に、休日の交通量を平成 11 年 10 月 3 日（日）に調査した。
- 「一般交通量調査」における交通量は、朝 7 時～夕方 7 時までの昼間 12 時間、一部の箇所では朝 7 時～翌朝 7 時（休日は朝 3 時～翌朝 3 時）の 24 時間、定められた調査地点において調査員が観測したものである。
- なお、昼間 12 時間調査箇所についての 24 時間交通量は、近くの 24 時間調査箇所の昼間交通量と夜間交通量の比率を乗じることで算出した交通量である。
- また、ここで観測された交通量は、調査地点における「断面交通量」であるが、以後に示す交通量図においては、この「断面交通量」を定められた「調査区間」（大きな交差点間）に拡張して地図表示した。